

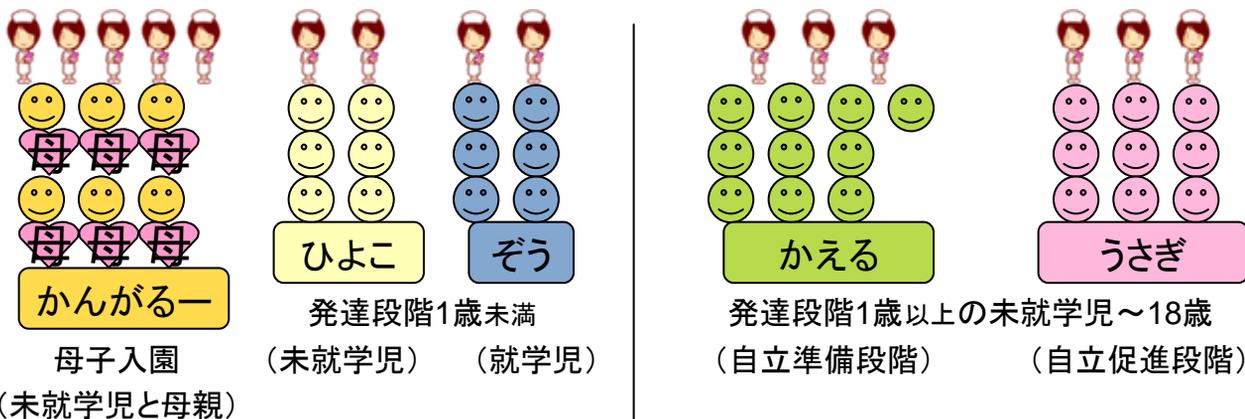
特集 固定チームナーシングの経過報告

明けましておめでとうございます。第2号は固定チームナーシングについての特集を組みました。皆さんも他の病棟での取り組みを参考に、今年も頑張っていきましょう。



2B・母子棟 健康状態の安定・発達目標に応じた支援・在宅生活を視野に入れた家族支援

大きく2チームに分かれ看護師を固定配置。発達段階別の5つの小グループで活動。



「子ども中心の看護とその継続」を目標に、病棟全体で取り組んでいます。チーム目標をより具体化し、評価へ向けている段階です！

3AB棟 在宅に向けた継続支援の充実に努めます

3チーム（3B棟2チーム、3A棟1チーム）に分かれ看護師・生活援助員を固定配置。





専門看護師（CNS）の役割（その1）



CNSの役割の1つは、多くの職種やスタッフと一緒に対象を多角的にアセスメントし、最も良いケアを考えて実践していくことです



例えば・・・呼吸のためには気管切開が必要だけど、吸引が多くてケアが大変になるし、気管切開を受け入れてくれる保育園もないから、経験が限られ、発達への影響も出てしまう・・・など、さまざまな方面から考えなければいけないことがたくさんあります。

さまざまなニーズをもつ対象のケアの方向性を一緒に考えていきましょう！！

小児看護専門看護師
市原真穂 PHS787

摂食・嚥下障害看護CN 片山ゆかり(2B・母子棟)

摂食・嚥下障害看護 認定看護師についてご紹介します



経験5年以上

摂食・嚥下障害看護CNになるまでの道のり



対象 脳血管障害患者
神経・筋疾患患者
口腔・咽頭がん患者
発達障害児 など

摂食・嚥下障害看護CN数 国内155名 千葉県9名

成田赤十字病院 千葉北総病院 県立佐原病院
循環器病センター 国立がんセンター東病院 等

皮膚・排泄ケアCN 室岡陽子 (3C)

Ostomy(オストミー)ケアとは？

Stomaはイタリア語で「口」を現す言葉です。オストミーケアの対象は、様々な口を持つ患者になります。代表的なものはストーマですが、当センターでケアする機会は少ないかもしれません。しかしストーマからの排泄ケアはボディイメージの変化だけではなく、排泄経路の変更といった点でもリハビリテーション看護としては大変重要です。患者ケアの際、アドバイスが必要な場合はいつでもご相談ください。その他では胃瘻、腸瘻、気管瘻などがあります。こちらは日々ケアする対象者も多いと思いますが、トラブル発生時またはケアの根拠など不明な点はいつでもご相談ください。

1月の活動日
4日、12日、18日、25日

